

鍵のつぶやき

私のご主人様は、市社協の送迎ボランティアさんに送迎してもらい病院に通っている。

ある日、ご主人様は病院に私を置き忘れて帰ってしまい家に入れなくなりました。でも大丈夫、私にはご主人様が利用している施設名が書かれた名札が付けてあるから。

病院から施設、施設から市社協へと連絡がつながり、2時間後にはご主人様の元へ戻ることができたのだ♡

家に入らず、寒さと空腹に耐えながら玄関前で待っているのではと案じたけれど心配無用だった。私が戻ってきた時、ご主人様は上の階に住んでおられる方の部屋で、ゆつくり待たせてもらっていたのだから。

普段からご近所さんとのつながりがあると、いざという時、心強いね♡
優しいご近所さん、連絡してくださったみなさんに感謝！

この鍵の話は、市社協の福祉車両貸出事業を利用してあられ、登録ボランティアさんに送迎をしてもらっている方に起こったエピソードです。

